

## 車両安全対策をめぐる最近の状況

車両安全対策検討会では、これまで、事故分析結果や社会情勢の変化による課題等を踏まえ、法令に基づく安全基準の拡充・強化を中心に議論してきたところである。しかしながら、近年、安全基準の策定に関して取り巻く環境が変化していることから、以下の点に留意しながら審議したい。

### 1. 自動車基準の国際調和の進展（参考資料3（1））

自由貿易協定の拡大、自動車基準の国際調和の進展等に伴い、自動車基準の検討は、これまで以上に国際的動向を考慮する必要性。

### 2. 自動車基準と自動車アセスメントの関係の深化（参考資料3（2））

最新の安全技術は、自動車アセスメントを一つのターゲットとして開発・市場投入され、その後、普及に伴って基準化の検討が開始されるなど、自動車アセスメントと自動車基準の関係が深化・連続化。

### 3. 新技術の市場投入の加速化（参考資料3（3））

近年、自動運転技術をはじめとして、これまで想定されなかった新技術の開発・市場投入が加速化。

以上を踏まえ、今回の車両安全対策検討会を行うにあたっては、以下の点に配慮しながら進めて参りたい。

- 車両安全対策に係る本年度の評価・分析の方針（事後評価などの事故分析等）は、事前配布する等により論文形式でご意見頂く。
- 自動車アセスメントと自動運転技術に関して自由討議を行う。
- 俯瞰的に車両安全対策の検討を行うため、安全基準、自動車アセスメント、ASV の検討状況に係る資料を追加する。

以上